

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人多賀町社会福祉協議会

令和5年度 事業報告

総 評

新型コロナウイルス感染が猛威を振るい人が集まることに制限がかかる中、令和5年5月8日より新型コロナウイルスが「5類感染症」に移行しました。

コロナ禍での生活は、人との接触が忌避され人と人が触れあい、そしてつながる大切さを体感する期間ともなりました。

移行後は、社会福祉協議会はコロナ禍以前より行っていた事業も徐々に再開し始め、サロン等の人が集まって行う事業も行っています。

新型コロナウイルスの影響による緊急小口資金・総合支援資金などの特例貸付の申請受付が令和5年9月で終了となりましたが、従来の生活困窮者自立支援事業及び生活福祉資金を含め、特例貸付の償還開始に合わせて継続的に生活に困っている方の相談に対応しています。

特に、感染症の影響により生活状況が一変し収入の減少による相談件数が増え、令和5年度は新規で11件の相談を受けましたが、プラン作成や生活保護や貸付事業につなげる等の支援を行いました。また、福祉保健課をはじめ、役場機関との連携会議に参加し、情報共有をしながら生活困窮者の支援方法について協議を行いました。

福祉教育の推進として、誰もが社会の一員として認められ存在していくことができる共生社会の大切さを考えてもらうため、両小学校で車いすのバスケットボールの体験学習を実施したり、小学生の児童に見守りの必要な高齢者の方へ手紙を書いてもらい、見守り訪問時に民生委員の方々から高齢者へ、その手紙を届けていただき、世代間の交流を行いました。

コロナ禍により、中止を余儀なくされていた「ふれあい食堂」も再開することができ、療育手帳をお持ちの方とその家族の方々の交流することができました。

今年の1月1日に発生した能登半島地震により、多数の死亡者や家屋が倒壊するなど、被災地のみなさんは今もまだ避難生活を強いられています。近年では1995年の阪神淡路大震災、2011年の東日本大震災を経験し、日頃の備えや人と人の絆の大切さを日本は痛感することになりました。幸いにも滋賀県、特に多賀町ではこのような大きな災害の経験がない中で、災害が起こった場合に備えて災害ボランティア活動の整備が急務となっています。大きな災害が起こった場合に社会福祉協議会としてどのような活動を行っていけばいいのか、町役場の防災・福祉部局と連携をしながら進めます。

今後も策定した事業計画の実現および多賀町の福祉向上のため社会福祉協議会職員一同、懸命に取り組んでまいります。

法人事業報告

【理事会】

●第1回

日時 令和5年 6月 1日(木) 13時27分から14時37分まで
場所 総合福祉保健センターふれあいの郷 2F いきいきホール
理事 8名出席(1名欠席)・監事 2名出席
報告事項 会長および常務理事の職務執行状況報告
提出議案 議案第1号 令和4年度事業報告の承認を求めることについて
議案第2号 令和4年度収支決算の承認を求めることについて
議案第3号 令和5年度6月定例評議員会の招集ならびに提出議案について
議案第4号 多賀町社会福祉協議会評議員解任について
議案第5号 多賀町社会福祉協議会評議員選任について
議案第6号 任期満了に伴う理事および監事候補者の選出(案)について

●新理事会

日時 令和5年 6月26日(月) 15時30分から15時39分まで
場所 総合福祉保健センターふれあいの郷 2F いきいきホール
理事 7名出席(2名欠席)・監事 2名出席
提出議案 議案第1号 社会福祉法人多賀町社会福祉協議会 会長、副会長および常務理事の選任について

●第2回

日時 令和6年 3月12日(火) 13時25分から15時15分まで
場所 総合福祉保健センターふれあいの郷 2F いきいきホール
理事 8名出席(1名欠席)・監事 2名出席
報告事項 会長および業務執行理事の職務執行状況報告
提出議案 議案第1号 令和6年度社会福祉法人多賀町社会福祉協議会事業計画(案)の承認を求めることについて
議案第2号 令和6年度社会福祉法人多賀町社会福祉協議会会計予算(案)の承認を求めることについて
議案第3号 令和5年度3月定例評議員会の招集ならびに提出議案について
特別利害関係 決議について特別の利害関係を有する理事の申し出無し

【評議員会】

●第1回

日時 令和5年 6月26日(月) 13時30分から14時16分まで
場所 総合福祉保健センターふれあいの郷 3F 多目的運動室
評議員 13名出席(4名欠席)・監事 1名出席
提出議案 議案第1号 令和4年度多賀町社会福祉協議会事業報告の承認を求めることについて
議案第2号 令和4年度多賀町社会福祉協議会会計決算の承認を求めることについて
議案第3号 任期満了に伴う理事および監事の選任について

●第2回

日時 令和6年 3月27日(水) 13時27分から14時17分まで
場所 総合福祉保健センターふれあいの郷 3F 多目的運動室
評議員 13名出席(4名欠席)
提出議案 議案第1号 令和6年度多賀町社会福祉協議会事業計画(案)の承認を求めることについて
議案第2号 令和6年度多賀町社会福祉協議会会計予算(案)の承認を求めることについて

【評議員選任・解任委員会】

日時 令和5年 6月14日(水) 16時30分から
場所 総合福祉保健センターふれあいの郷 2F いきいきホール
外部委員 3名出席・監事 1名出席

【監査】

日時 令和5年 5月15日(月) 9時20分から11時45分まで
場所 総合福祉保健センターふれあいの郷 2F いきいきホール
監事 2名出席
内容 決算監査

基本目標(第2期地域福祉活動計画)

- 1 地域福祉の推進に向けた多様な担い手づくり
- 2 地域での暮らしを支える体制づくり
- 3 安心の地域づくり

基本目標1 地域福祉の推進に向けた多様な担い手づくり

(1) 福祉の意識啓発と地域ぐるみの福祉教育の推進

①児童生徒の福祉学習の推進

○車いすバスケットボール体験学習

「障がいの有無に関係なく、みんなが平等に楽しめるスポーツ」を通じて、子どもたちに、人々の多様な在り方を認め合える社会(共生社会)を考えるきっかけづくりを目標に実施した。

*車いすバスケットボールチーム「LAKE SHIGA」に所属する3名が講師。

内1名は多賀町在住で、町身障更生会会員。

多賀小学校 10月16日(月)

- ・5年生:講話型学習 児童:2クラス46名
- ・6年生:体験型学習 児童:2クラス51名

大滝小学校 11月24日(金)

- ・5・6年生合同:体験・講話学習 児童:5年生10名・6年生4名

②手紙でつながろうプロジェクト・・・世代間交流

○手紙でつながろうプロジェクト～あなたと私は赤い羽根でつながっている～
歳末たすけあい募金助成事業

赤い羽根共同募金運動が始まる10月に、小学校2校の児童のみなさんにカードをお渡しし、見守りの必要な高齢者の方へ手紙を書いてもらうよう依頼。1月・2月の民生委員見守り訪問時に高齢者へ手紙を届けていただいた。

民生委員訪問時に同行し、その様子を写真に納めて学校側へお返しし、交流を深めた。

*合計430枚の児童からの手紙を高齢者世帯へお届けした。

③福祉活動啓発・・・世代間交流

○平和のつどい

令和5年8月27日(日) 多賀結いの森(多賀町中央公民館)

参加者60名(来賓・出演者含む)

*第一部

朗読「このゆびとまれ」

戦後50年誌 鎮魂と平和祈念の文集より他

＊第二部

滋賀県遺族会主催「鹿児島方面戦跡訪問研修」に参加した小学生2名・
中学生5名 計7名による感想・体験発表

＊ホワイエにて

戦争当時の滋賀県にまつわるパネル展示

○福祉のつどい

令和5年10月27日（金） 多賀結いの森（多賀町中央公民館）

参加者 44名

演 題 「相続について ～相続対策できていますか?～」

講 師 藤本 英之司法書士（藤本司法書士事務所）

(2) 地域を支える担い手の拡大、連携強化とリーダーの育成

①福祉会組織機能の強化【重点】

福祉会代表者連絡会

年4回（5/24、9/25、12/19、3/19）

地域ふれあい支え合い事業実績

年4回（5/24、9/25、12/19、3/19）

水谷・敏満寺・栗栖福祉会 現状と課題について共有

②自治会活動支援と担い手の育成【継続】

③福祉関係団体育成援助【継続】

○福祉団体活動支援事業

①多賀町遺族会（事務局・会計預かり）

5月23日（火） 令和5年度総会

6月15日（木） 県戦没者英霊塔月並法要（膳所公園）

8月13日（日）～15日（火） 護国神社みたま祭り（護国神社）

8月26日（土） 県平和祈念戦没者追悼式（県立体育館）

10月14日（火） 県戦没者遺族大会（八日市文化芸術会館）

11月03日（祝） 町内忠魂碑清掃

3月23日（土） 次世代戦跡訪問鹿児島方面研修事業（主催：県遺族会）

～25日（月） 参加者1名

②多賀町身体障害者更生会

5月11日（木） 令和5年度総会

10月16日（月） 車いすバスケットボール体験学習協力（多賀小学校）

10月25日（水） 滋賀県障害者福祉大会（大津市）

11月09日（木） 愛犬地区ふれあい交流会（当番町）

11月09日（木） 県障害者差別のない共生社会づくり条例フォーラム

11月24日（金） 車いすバスケットボール体験学習協力（大滝小学校）

11月20日（月） 会員親睦研修旅行（岐阜県）

④地域福祉推進リーダーの育成【継続】

⑤ボランティアなどの活動支援【継続】

○ボランティア活動支援

＊一人一花（胸花）づくり

多賀小学校・大滝小学校の卒業生に向けて胸花をつくりお渡しした。

＊おりがみサークル ココ・ナイン活動支援

毎月第3月曜日に活動中。福祉センターに飾る壁面パネルの制作。

⑥学生の福祉活動支援

⑦次世代の担い手育成事業

○児童・生徒福祉活動推進事業

*町内3校へ、30,000円（上限）を助成。福祉学習への協力。

①多賀小学校

- ・手紙でつながろうプロジェクト（町内高齢者と手紙での交流）への協力
- ・車いすバスケットボール体験学習
- ・赤い羽根共同募金
- ・緑の募金の協力
- ・手話、点字の学習、視覚障害者への理解（ゲストティーチャー）
- ・郷土芸能、文化継承活動「狂言鑑賞」
- ・特別支援や障がい児教育を深める。

②大滝小学校

- ・手紙でつながろうプロジェクト（町内高齢者と手紙での交流）への協力
- ・車いすバスケットボール体験学習
- ・赤い羽根共同募金
- ・緑の募金の協力
- ・手話・点字の学習、視覚障害者への理解（ゲストティーチャー）
- ・大滝小まつりでの地域交流

③多賀中学校

- ・認知症を理解する学習
- ・赤い羽根共同募金の協力
- ・特別支援学級、学校支援ボランティアとの交流
- ・環境学習

基本目標2 地域での暮らしを支える体制づくり

(1) 交流の場・居場所づくり【継続】

①地域サロンの活動支援

○職員訪問実績

- 6月 8回（水谷・栗栖・萱原・敏満寺・富之尾福祉会）
- 7月 1回（水谷福祉会）
- 8月 2回（多賀・中川原福祉会）
- 9月 2回（栗栖・敏満寺福祉会）
- 10月 1回（栗栖福祉会）
- 11月 1回（中川原福祉会）
- 12月 2回（多賀・萱原福祉会）
- 1月 2回（敏満寺・栗栖福祉会）
- 2月 1回（中川原福祉会）
- 3月 2回（敏満寺・栗栖福祉会）

②ふれあいサロン（食堂）

○ふれあい食堂 12月16日（土）

療育手帳をお持ちの方とその家族を対象にご案内。7世帯21名が参加。

③コミュニティカフェの開設【継続事業・重点】

(2) 地域の暮らしを支えるネットワークづくり

①安心の見守り支援【継続事業・重点】

- ②地域における支え合いの仕組みづくり【継続事業・重点】
- ③行政との連携

(3) 地域が主体となる生活支援の推進

- ①外出支援サービスの検討【継続】
- ②里帰り出産できない家庭への支援【継続】
 - 子育てサポーター養成講座
 - 年9回実施（研修・スタッフ会議他）

基本目標3 安心の地域づくり

(1) 地域ぐるみの防災活動の推進

- ・・・平時からの行政など多様な関係機関との連携強化
- ①災害時要支援者台帳の管理および災害発生時の支援体制強化【継続】
- ②緊急時対応の推進
- ③集落単位での防災体制の強化
- ④災害発生時の支援体制強化

(2) 権利擁護の推進

①地域福祉権利擁護

地域福祉権利擁護事業実績

契約件数 11件（令和6年3月31日現在）

支援回数 のべ798件

研修会等 年8回（8/18、9/15、10/27、11/6、11/10、11/16、11/17、1/16）

②生活困窮者自立支援

○生活困窮者自立支援事業

*新規相談受付 11件

内訳 7件がプランを作成し支援。

4件は、生活保護や貸付事業へつなぎ他

*自立相談支援プラン作成件数（昨年からの継続含む） 9件

（支援回数）

自立相談支援 支援件数 延べ 87回

家計改善支援 支援件数 延べ180回

（支援内容）

- ・50代男性一人暮らし。母の他界で年金収入が無くなり少ないアルバイト収入とわずかな預金での生活のため支援。
- ・50代男性。コロナ特例貸付を含め多重債務を抱えており、法律相談につなぐ。
- ・40代男性一人暮らし。アルコール依存症もあり、飲酒運転による事故がきっかけで失業。関係機関と連携して支援。
- ・50代男性妻子あり。消費者ローン利用による多重債務。法律相談へのつなぎ、本人の姉と一緒に家計状況を把握しながらの支援。
- ・50代女性。アルコール依存の悪い夫がおり、夫の債務について法律相談で対応。
- ・50代男性一人暮らし。お金を計画的に使うことができず散財。姉の支援も拒否するため、権利擁護事業にて通帳管理も同時進行。
- ・50代男性。懸賞金詐欺にあい、消費者金融より借入。その他にもローンを抱えているため、法律相談へのつなぎや同行支援。
- ・50代女性。知的障害の夫と知的障害で不登校の長女がいる。家計管理ができないため、かかえているローンの返済方法など法律相談を行うなどで対応。

「徴収対策と生活困窮者等支援対策連絡会議」への出席
福祉保健課管理のもとで開催される会議に参加。
年6回（5/18、7/20、9/21、11/16、1/18、3/21）

*各会議・研修への出席

- ・生活困窮者自立相談支援事業担当者会議（町担当者会議含む）
年4回（6/22、8/30、9/8、12/5）
- ・生活困窮者自立相談支援員研修
都道府県2回（10/5、10/23）
国（支援員養成研修）（11/27～28）
- ・生活困窮者自立相談支援コンサルティング事業研修（11/14）

*その他に各制度を利用されていない方への対応

就労定着支援 2ヶ月に1回面談 1名（精神障害による就労不安定者）
生活状況確認 1ヶ月に1回訪問 1名（生活困窮者自立支援終了後の見守り）

③認知症対策の推進

④権利擁護サポートセンターの活用

(3) 情報提供・相談支援

①ふくしが発行（ホームページ更新）

2回（8月号・12月号）

②情報収集・発信の強化

③心配ごと相談【継続】

○総合相談

*心配ごと相談所

令和5年4月～令和6年3月 計12回

相談員動員 延べ35人

*無料法律相談日

令和5年8月～令和6年3月 計8回

弁護士1名

相談者 延べ24名

④相談支援体制の充実【重点】

○コロナ特例貸付償還フォローアップ事業

令和5年1月より償還が始まっている中、償還免除の承認を受けた方や償還が困難であると相談があった方など、特に支援が必要と考えられる借受人へのフォローアップ支援を、県社協と連携して行った。

*借受人67名への対応実績（延べ人数）

訪問：5名 来所者対応：47名 電話対応：70名

法律相談日：8月～3月までの計8回開催

（借受人の多重債務相談等に応じていただいた。）

借受人67名へ状況確認のためハガキを送付

県社協フォローアップ事業調査員との調整ほか書類の整理など

なんでも相談会の開催実績

6月6日（火） 調整会議

10月30日（月） 事前J-ネット（彦根市障害者福祉センター）

11月23日(木) 相談会(彦根市障害者福祉センター)
多賀町の相談件数 0件

(4) 社会福祉協議会の経営基盤強化

※その他の実績

○会費実績

- ①一般会費 1,934,780円(1,934世帯)
- ②賛助会費 95,000円(42人)
- ③団体会費 10,000円

*善意銀行

- 特別寄付 98,000円(4件)
- 物 品 車椅子(2台)

○居宅介護支援事業

- 4月10日(月) 令和5年度 年間研修計画について
※前年度の研修内容の振り返り
 - 4月27日(水) 令和5年度滋賀県主任介護支援専門員フォローアップ研修
 - 5月22日(月) 令和5年度通常総会 総会記念講演会
(彦根愛知犬上介護保険事業者協議会)
 - 9月13日(水) 第1回病院・介護支援専門員拡大会議
 - 10月10日(火) 主任介護支援専門員更新研修
~12月25日(月) 全8回
 - 11月 2日(木) 令和5年度介護給付適正化ヒアリング
利用者2名
 - 1月18日(木) ことう地域チームケア研究会
- 多賀町地域ケア会議 「介護サービス事業所支援部会」
年3回(6/15、10/12、11/13)
 - 「地域ケア会議」
年4回(5/11、8/4、11/9、2/8)
 - 令和5年度契約実績
契約件数 22件(令和6年3月31日現在)

○いきいき教室

- 契 約 数 3件(令和6年3月31日現在)
- 利用者のべ人数 212人(毎週金曜日(45回開所))
- 主な活動内容
 - 手作りの暑中見舞いはがきを、紙すきから製作
 - 干支 辰のはりこ作り(個別に写真撮影し配布)
 - 脳トレ プリント 体操
 - 新型コロナウイルスワクチン接種、予約の支援
 - 季節に合わせての話題
熱中症の予防 台風時の避難準備 大雪に備えての準備

事業実績

内 容	実 績
安心見守り訪問・情報収集	1,403人
いきいき教室	211人
見守り物品	1,791件

困り事支援サービス実績

支援内容	支援回数
相談件数	1件
支援ボランティアへの依頼	0件
業者への依頼	0件
社協での対応	0件
地域住民での対応	0件
相談のみ	1件

困り事支援ボランティア登録者数

25人